創立１１３周年　姶良市立建昌小学校　学校だより令和５年２月号

建昌っ子だより

【校訓・キャッチフレーズ】元気で　力のある　建昌の子

もっと読書を好きになろう

校長　坂口　利一

立春を過ぎたとは言え，日によってはまだ肌寒い日が続いています。しかしながら，三寒四温を経て校内の花壇にもツルコザクラやパンジー等がきれいな花をつけています。少しずつ春の訪れを感じます。

さて，少し前の新聞に『小学生　読書で学力向上』という見出しの記事が掲載されたことがあります。読書量と学力の関係を調べたところ、読書量が多いほど子どもの学力が上がる傾向が見られたとありました。特に算数で上昇傾向が強くみられたそうです。これは，読書によって算数で必要な問いや条件を正確に読み取る力がついているからではないかという考察がありました。

一方で『ゲーム依存は，病気です　～低年齢化にどう向き合うか～』という記事も掲載されました。スマホやパソコンなどのゲームにのめり込み日常生活に支障をきたす症状が「ゲーム障害」として WHO(世界保健機関 2019 年)でも定義されています。

下記が，ゲーム障害の８つの兆候です。

① ゲームをする時間がかなり長くなった
② 夜中までゲームを続ける
③ 朝起きられない
④ 絶えずゲームのことを気にしている
⑤ ほかのことに興味を示さない
⑥ ゲームのことを注意すると激しく怒る
⑦ 使用時間や内容などについて嘘（うそ）をつく
⑧ ゲームへの課金が多い

子どもたちのメディアとのかかわりが心身の健康に大きな影響を与えています。ぜひ，かねてからゲームなどのメディアの使用状況やルールについて話し合っていただき，適切にかかわっていける態度を育てていきたいと思います。

そして，最初の話題に戻りますが，子どもたちの読書の状況はどうでしょうか。学校の貸し出し状況を見ると個人差が大きい傾向があります。ぜひ，子どもの読書習慣づくりについて話し合ってみてください。生活の一部として読書を取り入れることで，豊かな心も育ちます。学校の図書室にはおもしろい本がたくさん並んでいます。

ゲーム依存を遠ざけて読書を重ねることで心が豊かになり学力向上につながれば，子どもにとって多くの収穫が得られることになります。